

問1 景気が後退している不況期において、日本銀行が市場の通貨量を増やして景気の回復を図るために行う操作として、最も適切なものはどれですか。（2026年 鳥取公立入試 類似）

- |   |                                      |                                      |  |
|---|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 民間銀行が保有する国債などを買い取り、代金を支払うことで市場に資金を供給する操作 | 2. 保有している国債などを民間銀行に売却し、市場の資金を吸い上げる操作 | 3. 日本銀行が定める政策金利を引き上げ、企業が資金を借りにくくする操作 | 4. 民間銀行が日本銀行に預けなければならない資金の割合（準備率）を高く設定する操作 |
|---|--------------------------------------|--------------------------------------|--|

問2 日本銀行が不況期に買いオペレーションを行い、市場に流通する通貨量を増やした結果、期待される経済への影響として適切なものを選びなさい。（2023年 群馬県公立入試 類似）

- |   |                                       |  |                                    |
|---|---------------------------------------|--|------------------------------------|
| 1. 銀行の貸出金利が下がり、企業が資金を借りやすくなることで設備投資が活発になる | 2. 銀行の貸出金利が上がリ、個人の貯蓄意欲が高まることで消費が抑制される | 3. 通貨の価値が急激に高まり、輸入品の価格が安くなることでデフレが進行する | 4. 政府の借金である国債がすべて回収され、国の財政赤字が解消される |
|---|---------------------------------------|--|------------------------------------|

問3 日本銀行が景気を調整するために行う「公開市場操作」のうち、不況のときに世の中の資金量を増やす目的で行われる「買いオペレーション」の内容として適切なものはどれか。（2016年 千葉県公立入試 類似）

- |   |  |                                 |                               |
|---|--|---------------------------------|-------------------------------|
| 1. 日本銀行が民間銀行から国債を買い取り、その代金を支払うことで市場に流通する通貨の量を増やす。 | 2. 日本銀行が民間銀行に国債を売却し、その代金を受け取ることで市場に流通する通貨の量を減らす。 | 3. 日本銀行が各銀行に預けさせる準備金の割合を引き下げること | 4. 日本銀行が各銀行に貸し出す際の利子率を引き下げること |
|---|--|---------------------------------|-------------------------------|
- で、銀行が企業へ貸し出せる資金を増やす。 企業への融資を活発にする。

問4 私たちの経済生活において、銀行などの金融機関は家計から預金として集めた資金を、資金を必要とする企業などの借り手に貸し出しています。このように、金融機関が貸し手と借り手の間に入り、資金を仲介する仕組みを何といいますか。（2021年 岐阜公立入試 類似）

- |         |         |         |           |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 間接金融 | 2. 直接金融 | 3. 信用創造 | 4. 公開市場操作 |
|---------|---------|---------|-----------|

問5 日本銀行が担っている「政府の銀行」としての役割について、具体的な事例として最も適切なものはどれかを選びなさい。（2024年 宮城県公立入試 類似）

- |   |   |  |   |
|---|---|--|---|
| 1. 政府が国民から集めた税金（国庫金）を預かり、政府の指示で年金の支払いなどを行う。 | 2. 私たちが普段利用している民間銀行に対して、資金が不足した際に融資を行う。 | 3. 一般の個人や企業から貯金を預かったり、住宅ローンの貸し付けを行ったりする。 | 4. 物価が上がリすぎた際に、市場に流通するお金の量を減らして景気を抑制する。 |
|---|---|--|---|

問6 景気が過熱して物価が上がり続けるインフレの恐れがあるとき、日本銀行は市場の通貨量を調節することで景気を安定させようとします。このとき行われる「売りオペレーション」の説明として正しいものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

- |                                 |                                  |                                 |                                  |
|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場の通貨量を減らす。 | 2. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を増やす。 | 3. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場の通貨量を増やす。 | 4. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を減らす。 |
|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|

問7 日本銀行は、日本の中央銀行として一般の銀行とは異なる3つの大きな役割を持っています。そのうち、民間銀行に対して資金の貸し出しを行ったり、決済のための口座を提供したりする役割を何と呼びますか。（2025年 鹿児島公立入試 類似）

- |          |          |         |             |
|----------|----------|---------|-------------|
| 1. 銀行の銀行 | 2. 政府の銀行 | 3. 発券銀行 | 4. 日本政策投資銀行 |
|----------|----------|---------|-------------|

問8 日本の中央銀行である日本銀行は、日本で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行・管理することができる機関です。この役割を何と呼びますか。（2023年 愛媛公立入試 類似）

- |         |          |          |         |
|---------|----------|----------|---------|
| 1. 発券銀行 | 2. 銀行の銀行 | 3. 政府の銀行 | 4. 市中銀行 |
|---------|----------|----------|---------|

問9 日本銀行が景気の後退（不景気）に対処するために行う金融政策の一つに、「買いオペレーション」があります。この政策の具体的な仕組みとして正しいものはどれですか。（2024年 宮城県公立入試 類似）

- |   |                                       |   |                                       |
|---|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 日本銀行が市中の金融機関から国債を買い入れ、市場に出回る通貨量を増やす。 | 2. 日本銀行が市中の金融機関に国債を売却し、市場に出回る通貨量を増やす。 | 3. 日本銀行が市中の金融機関から国債を買い入れ、市場に出回る通貨量を減らす。 | 4. 日本銀行が市中の金融機関に国債を売却し、市場に出回る通貨量を減らす。 |
|---|---------------------------------------|---|---------------------------------------|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 民間銀行が保有する国債などを買い取り、代金を支払うことで市場に資金を供給する操作	不況時には、世の中に出回るお金の量を増やして経済を活性化させる必要があります。日本銀行が民間銀行から国債などを買い取る「買いオペレーション」を行うと、その代金が民間銀行に渡り、社会全体の通貨供給量が増加します。これにより金利が低下し、企業や家計が資金を借りやすくなることで、投資や消費が刺激されます。
問2	<b>答え 1</b> 銀行の貸出金利が下がり、企業が資金を借りやすくなることで設備投資が活発になる	買いオペレーションによって市場に出回る通貨量が増えると、お金を借りやすくなるため、銀行の貸出金利（利子率）が低下します。金利が下がれば、企業は新しい工場を建てるための資金を借りやすくなり、個人も住宅や自動車のローンを組みやすくなるため、社会全体の投資や消費が促進され、景気の回復へとつながります。国債の回収は一時的な通貨量調整の手段であり、国の財政赤字そのものを解消する仕組みではありません。
問3	<b>答え 1</b> 日本銀行が民間銀行から国債を買い取り、その代金を支払うことで市場に流通する通貨の量を増やす。	不況の際、日本銀行は市場の通貨量を増やして景気を刺激しようとします。このとき、日本銀行が民間銀行から国債などを買い取ることで、その代金が民間銀行へと渡り、結果として企業や個人への貸し出しに回る資金が増えます。これを「買いオペレーション」と呼びます。選択肢にある準備金の操作や利子率の操作は、かつて行われていた別の手法や現在の政策金利の調整に関するもので、公開市場操作そのものの説明ではありません。
問4	<b>答え 1</b> 間接金融	資金の貸し手（家計・預金者）と借り手（企業など）が直接取引を行うのではなく、銀行などの金融機関が預金という形で資金を集め、自らの判断で貸し出しを行う方式です。金融機関が「仲介」の役割を果たすことが最大の特徴です。
問5	<b>答え 1</b> 政府が国民から集めた税金（国庫金）を預かり、政府の指示で年金の支払いなどを行う。	「政府の銀行」とは、日本銀行が政府のお金を扱う機関であることを指します。具体的には、納税者が納めた税金を政府の預金（国庫金）として受け入れたり、公共事業の代金や公務員の給料、年金の支払いなどを政府に代わって実行したりします。民間銀行への融資は「銀行の銀行」としての役割、一般の個人との取引は行わないのが日本銀行の特徴です。
問6	<b>答え 1</b> 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場の通貨量を減らす。	日本銀行が保有する国債を一般の銀行に売却すると、その代金として銀行側の資金が日本銀行へ支払われます。これにより、民間市場に出回る通貨の総量が抑えられることになり、景気の行き過ぎを抑制する効果があります。これとは逆に、景気が悪いときに国債を買い取って通貨を供給するのは「買いオペレーション」です。
問7	<b>答え 1</b> 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般の企業とは直接取引を行わず、民間銀行などの金融機関との間で資金の貸し借りや決済を行うため「銀行の銀行」と呼ばれます。なお、国の税金などの出し入れを管理する役割は「政府の銀行」、紙幣（日本銀行券）を発行する役割は「発券銀行」と呼ばれ、これらが日本銀行の主要な3機能です。
問8	<b>答え 1</b> 発券銀行	日本銀行は、法律によって日本銀行券を独占的に発行する権利が与えられています。この役割を「発券銀行」と呼びます。他にも、一般の銀行に対して資金の貸し出しなどを行う「銀行の銀行」としての役割や、国庫金の管理などを行う「政府の銀行」としての役割を合わせた3つが、日本銀行の主な機能です。
問9	<b>答え 1</b> 日本銀行が市中の金融機関から国債を買い入れ、市場に出回る通貨量を増やす。	景気が悪い時期には、経済を活性化させるために世の中に出回るお金の量を増やす必要があります。日本銀行が民間銀行などの金融機関が保有する国債を買い取ることで、その代金が銀行に支払われ、結果として市場の通貨量が増加します。これを「買いオペレーション」と呼び、公開市場操作の代表的な手法です。